

チョッキ(千人力)



このチョッキは綿でできており、水で濡らすと切れにくくなるという昔の知恵から作られました。千人針と同じく日露戦争のころに始まったと言われる。兵士が戦場で活躍するため、自分の「力」を貸すという意味で、男性一人一人が「力」の文字をチョッキに寄せ書きしたもの。千人針と比べ、現在ではほとんど残っていない。